

平成30年度

京都府学力診断テストの結果の概要について



平成30年7月24日
学 校 教 育 課

- ◎ 実施日 平成30年4月11日（水）～ 16日（月）
- ◎ 実施対象 府内小学校及び義務教育学校前期課程（207校）
特別支援学校小学部（1校）の第4学年
府内中学校及び義務教育学校後期課程（96校）
特別支援学校中学部（3校）の第1学年
- ◎ 実施教科及び受検者数
小学校及び義務教育学校第4学年 国語9,982人 算数 9,982人
中学校第1学年及び義務教育学校第7学年 国語9,659人 数学（算数） 9,657人
- ◎ 問題内容及び問題数
 - 学力調査
 - ・基礎・基本に関する問題 ……20問
 - ・活用に関する問題 ……5問
 - 質問紙調査 小学校第4学年 ……48問（学校独自2問 計50問）
中学校第1学年 ……49問（学校独自2問 計51問）

平成30年度京都府学力診断テストを実施しました。学力調査と質問紙調査の結果について概要を報告します。

学力調査の状況

- ◆ 学力については、小学校4年、中学校1年ともに概ね定着しているが、一部の領域に課題が見られる。

＜小学校4年＞

- ◆国語、算数ともに基礎・基本の問題は、定着している。活用の問題は、一定の定着は見られるが、国語については依然課題が見られる。

領域別では国語の「読むこと」に課題が見られる。算数では、各領域とも定着が見られる。

＜中学校1年＞

- ◆国語、数学（算数）の基礎・基本の問題は、定着している。活用の問題は、国語については定着しているが、数学（算数）については、依然課題が見られる。

領域別では、国語は各領域とも定着が見られる。数学（算数）は概ね定着しているが、「数量関係」に課題が見られる。

質問紙調査の状況

- ◆【授業改善】自分の考えを発表する機会が与えられていることや話し合い活動をよく行うことについては、前年度と同様に肯定的に捉えている児童生徒の割合が高い。また、学習のめあての提示や学習を振り返る活動についても概ね定着が見られ、主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業改善が進んでいる。

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合

「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた」

○小学校4年：82.2%（H29：84.4%）、○中学校1年：93.2%（H29：93.5%）

「授業では、みんなで話し合う活動をよく行っていた」

○小学校4年：85.8%（H29：86.9%）、○中学校1年：95.6%（H29：95.2%）

「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた」

○小学校4年：87.0%（H29：88.0%）、○中学校1年：95.3%（H29：95.2%）

「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」

○小学校4年：78.6%（H29：78.8%）、○中学校1年：81.2%（H29：79.6%）

- ◆【学習習慣】家で学校の宿題をしている児童生徒の割合は9割を越えている。また、学校の授業時間以外の勉強時間については、ほぼ前年度並みである。

「家で学校の宿題をしていますか」（小学校4年）「家で学校の宿題をしていましたか」（中学校1年）

※「している（していた）」「どちらかといえば、している（していた）」と肯定的に回答している児童生徒の割合

○小学校4年：96.8%（H29：97.1%）、○中学校1年：95.4%（H29：94.9%）

「学校の授業時間以外に、ふだん、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」（小学校4年）

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか」（中学校1年）

※「30分より少ない（少なかった）」「全くしていない（していなかった）」と否定的に回答している児童生徒の割合

○小学校4年：18.9%（H29：18.7%）、中学校1年：14.9%（H29：14.7%）

勉強時間が30分未満の児童は、小学校4年・中学校1年ともに0.2ポイント増加した。

◆【学校生活】【人や社会との関わり】の中で、規範意識をもち、前向きにものごとを考えようとしている児童生徒が多い。特に中学校1年では、下記の全ての項目で割合が増加している。

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合 「自分
「知っている人に会ったときには、あいさつをしている」

○小学校4年：88.7%（H29：89.1%）、○中学校1年：92.5%（H29：92.3%）

「学校や社会のきまりや規則を守っている」

○小学校4年：89.8%（H29：89.6%）、○中学校1年：94.7%（H29：93.4%）

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」

○小学校4年：93.8%（H29：93.6%）、○中学校1年：96.4%（H29：96.2%）

「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」

○小学校4年：79.4%（H29：78.8%）、○中学校1年：72.1%（H29：70.7%）

「人が困っているときは、進んで助けている」

○小学校4年：87.3%（H29：87.0%）、○中学校1年：87.0%（H29：86.7%）

「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」

○小学校4年：93.6%（H29：93.3%）、○中学校1年：96.8%（H29：96.0%）

「人の役に立つ人間になりたいと思う」

○小学校4年：93.0%（H29：92.6%）、○中学校1年：95.8%（H29：94.6%）

改善プラン ～指導を強化する事項～

★ 基礎・基本の定着

小中連携の視点での結果の活用を効果的に行い、組織的な授業改善や一人一人の学力状況に応じた指導の充実を引き続き図る。

★ 学習習慣の定着

予習・復習を中心とした主体的な学習習慣が身に付くように、家庭と連携した取組を充実、推進させる。

★ 主体的・対話的で深い学びの充実

言語活動を充実させ、自信をもって意見を述べることのできる児童生徒の育成を目指すとともに、主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業改善をさらに進めることを通して、活用の問題にも対応できる力の育成を目指す。

★ 学びに向かう力の育成

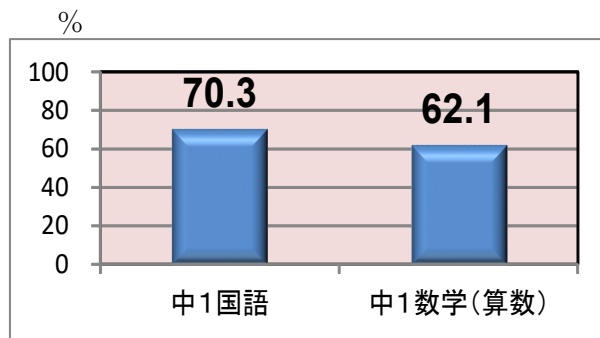
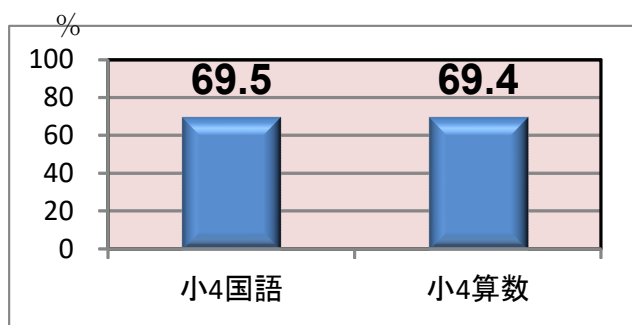
児童生徒一人一人の成長や進歩を丁寧に評価したり認めたりし、学びに向かう力を高める。

★ 「京都府学力診断テスト活用講座」を実施【9月7日・9月11日】

1. 学力調査の状況

(1) 京都府総合

※数値はすべて正答率（100%）

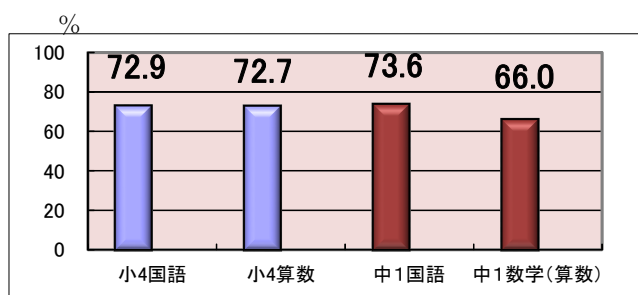


※学力については、小学校4年、中学校1年ともに概ね定着しているが、一部の領域に課題が見られる。

(2) 教育局別

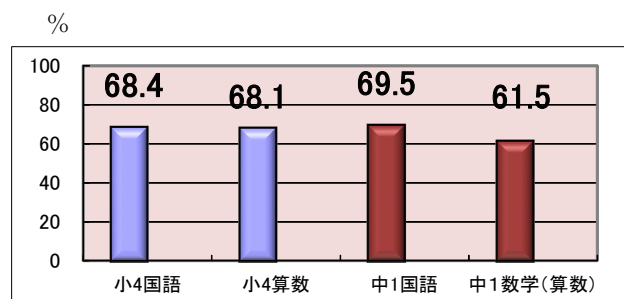
乙訓

(小18校・中8校)



山城

(小77校・中35校)

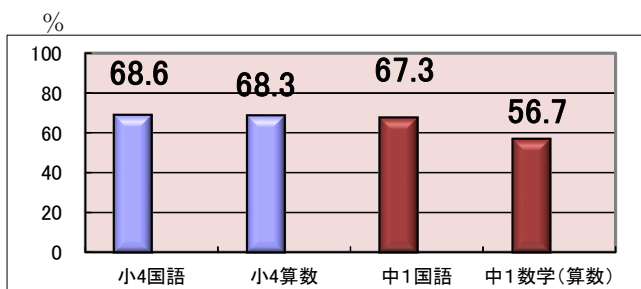


小4年国語 (1358人 13.6%) 算数 (1359人 13.6%)
 中1年国語 (1307人 13.5%) 数学(算数) (1307人 13.5%)

4年国語 (5140人 51.5%) 算数 (5139人 51.5%)
 中1年国語 (4664人 48.3%) 数学(算数) (4663人 48.3%)

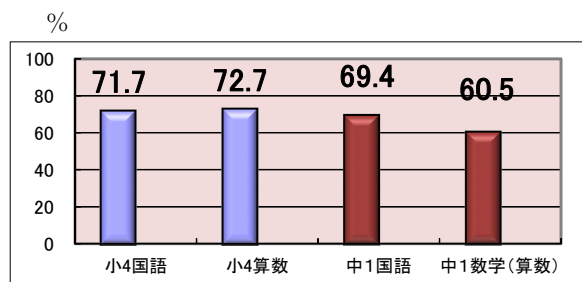
南丹

(小29校・中14校・義1校)



中丹

(小48校・中22校)



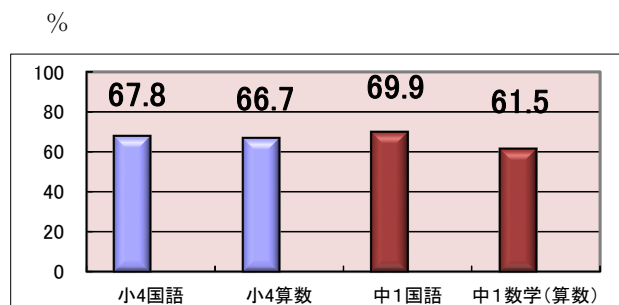
小4年国語 (1092人 10.9%) 算数 (1092人 10.9%)
 中1年国語 (1058人 11.0%) 数学(算数) (1059人 11.0%)

小4年国語 (1660人 16.6%) 算数 (1660人 16.6%)
 中1年国語 (1639人 17.0%) 数学(算数) (1638人 17.0%)

丹後

(小34校・中12校)

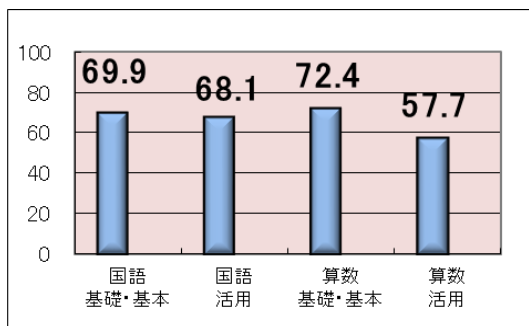
小4年国語 (731人 7.3%) 算数 (731人 7.3%)
 中1年国語 (781人 8.1%) 数学(算数) (780人 8.1%)



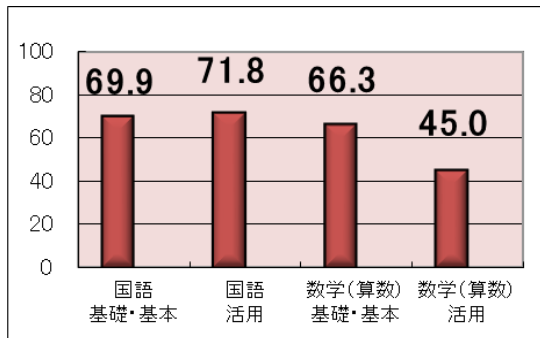
()は、(受検者数 / 府全体の受検者数に占める割合)を表す。

(3)問題別(基礎・基本に関する問題 活用にに関する問題)

小学校4年



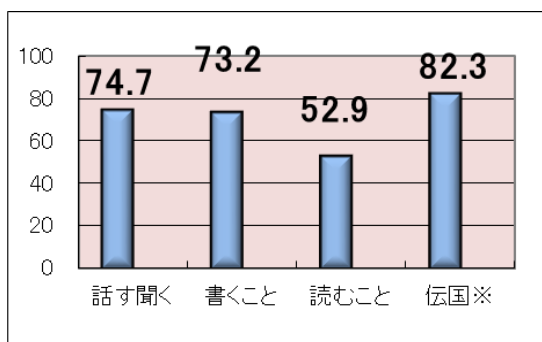
中学校1年



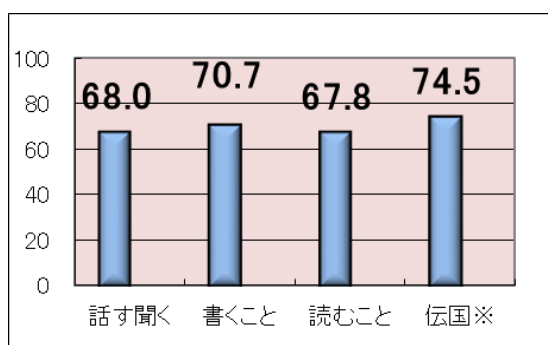
(4)教科別の状況

国語

小学校4年



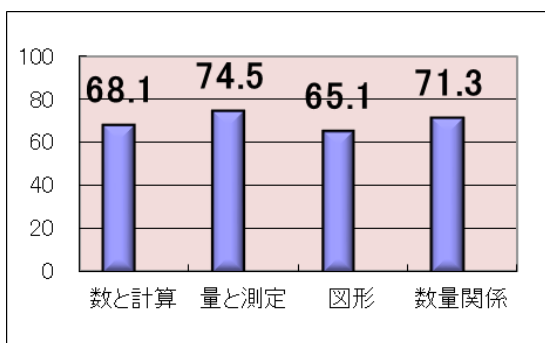
中学校1年



※伝国・・・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事

算数・数学

小学校4年



中学校1年

